

会議後

令和7年度埼玉県中学校学校総合体育大会<中学校の部>
バドミントン競技代表者会

埼玉県中学校体育連盟バドミントン専門部
 日 時 令和7年7月8日(火) 13:15~
 場 所 スポーツ総合センター301.302 研修室

バドミントン競技代表者会		司会 角山 (三室中)																															
◎各地区常任委員は、各地区ごとに下記の業務を行って下さい。(目安 13:15~13:40) ①参加申込書(A3版)等の集約 →内容の正誤を確認する →山内T(越谷富士中)へ提出 ②県大会参加費の徴収、 受領書・領収書・県大出場証明書の配付 →参加費を確認集約する →中村T(幸手西中)へ提出		<座席配置図>(301.302 研修室) <table border="1"> <tr> <td>司会(山内)</td> <td>委員長(歸山)</td> <td>顧問(関根)</td> </tr> <tr> <td>書類(大澤)</td> <td></td> <td>参加費(中村)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">専門部役員(名倉・山内・島田・荻原・清水楓・角山・磯下・森・鈴木・町田・清水一)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">常任委員</td> </tr> <tr> <td>さいたま(中島)</td> <td>上尾(山本)</td> <td>大里(馬場)</td> </tr> <tr> <td>さいたま(服部)</td> <td>北足立(梶原)</td> <td>北埼玉(山中)</td> </tr> <tr> <td>川口(伊賀)</td> <td>入間(竹内)</td> <td>越谷(寺家)</td> </tr> <tr> <td>県南(土肥)</td> <td>比企(浅野)</td> <td>葛北(安達)</td> </tr> <tr> <td>朝霞(宮寄)</td> <td>児玉(高坂)</td> <td>葛南(瀧口)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>地域(関川)</td> </tr> </table>		司会(山内)	委員長(歸山)	顧問(関根)	書類(大澤)		参加費(中村)	専門部役員(名倉・山内・島田・荻原・清水楓・角山・磯下・森・鈴木・町田・清水一)			常任委員			さいたま(中島)	上尾(山本)	大里(馬場)	さいたま(服部)	北足立(梶原)	北埼玉(山中)	川口(伊賀)	入間(竹内)	越谷(寺家)	県南(土肥)	比企(浅野)	葛北(安達)	朝霞(宮寄)	児玉(高坂)	葛南(瀧口)			地域(関川)
司会(山内)	委員長(歸山)	顧問(関根)																															
書類(大澤)		参加費(中村)																															
専門部役員(名倉・山内・島田・荻原・清水楓・角山・磯下・森・鈴木・町田・清水一)																																	
常任委員																																	
さいたま(中島)	上尾(山本)	大里(馬場)																															
さいたま(服部)	北足立(梶原)	北埼玉(山中)																															
川口(伊賀)	入間(竹内)	越谷(寺家)																															
県南(土肥)	比企(浅野)	葛北(安達)																															
朝霞(宮寄)	児玉(高坂)	葛南(瀧口)																															
		地域(関川)																															
1	委員長あいさつ 【伝達事項】 1. 熱中症対策 ①大会会場は冷房が入る。 ②各チーム熱中症対策グッズを持参する。 2. スマホによる撮影に関すること	13:40~	歸山																														
2	令和7年度埼玉県中学校学校総合体育大会<中学校の部> バドミントン競技会について (1)実施要項、(2)参加細則、(3)競技・審判上の注意 (4)その他	13:45~14:45	歸山																														
3	連絡事項	14:45~14:50	歸山																														
4	昼食・旅費について	14:50~ 14:55~20	中村																														
		休憩 10分																															
5	団体戦組み合わせ抽選 ※組合せは、確認後、即時 web 公開	15:05~30~ 16:7:010	伊賀・梶原 森																														
	代表者会終了後	休憩 10分																															
*	県大会個人戦組合せ会議 ※9日(水)中に確認し、10日(木)にweb公開予定	16:7:105~	各地区常任委員(代理人)・専門部役員																														
*	大会運営員の動静確認及び役割分担																																
*	物品仕分け(賞状・メダル等)																																
2 6	その他		歸山																														

◎関東・全国に向けた強化練習会について

- (1) 期 日 7月30(火) 31(水) 8月2日(金)
- (2) 場 所 北本市体育センター
- (3) 参加資格 ①令和7年度関東中学校バドミントン大会出場権獲得校(チーム)及び選手
 ②埼玉県中学校体育連盟バドミントン専門部が指名する選手

<埼玉県バドミントン協会中学の部より>

1. 関東記念Tシャツについて

- ・令和7年度関東神奈川大会記念Tシャツの在庫が若干あります。
希望される方は、成田Tへ連絡をお願いします。 **携帯番号090-1046-7674**

2. 7月から9月の県内の大会について

- (1) 全日本ジュニアバドミントン選手権大会埼玉県予選会（ジュニア新人の部）（7月）
申込締切日 令和6年7月3日(木) 受付終了
- (2) 埼玉県ジュニアバドミントン年齢別シングルス大会（8. 9月）
申込締切日 令和6年7月18日(金)

※大会の開催に向けて準備を行っています。

令和7年度埼玉県学校総合体育大会<中学校の部> バドミントン競技会 実施要項

- 1 主催 埼玉県 埼玉県教育委員会 公益財団法人埼玉県スポーツ協会
さいたま市教育委員会 埼玉県中学校体育連盟 埼玉県バドミントン協会
- 2 主管 埼玉県中学校体育連盟バドミントン専門部
- 3 後援 熊谷市教育委員会 八潮市教育委員会
- 4 会期 令和7年7月14日(月) 男子団体戦 開始式・競技・表彰
7月15日(火) 女子団体戦 開始式・競技・表彰
7月22日(火) 男女個人戦ダブルス 説明・競技・表彰
7月23日(水) 男女個人戦シングルス 説明・競技・表彰
7月25日(金) 団体戦順位決定戦 説明・競技
- 5 会場 彩の国くまがやドーム 体育館
〒360-0004 埼玉県熊谷市上川上300
TEL 048-526-2004
八潮市立大原中学校 体育館(25日)
〒340-0815 埼玉県八潮市八潮5丁目9-1
TEL 048-996-1378
- 6 種目 男女ともに団体戦並びに個人戦(複・単)
- 7 参加資格
 - (1) 申込時に埼玉県中学校体育連盟加盟中学校(義務教育学校等において、中学校第1学年から第3学年に該当する学年)に在籍している者とする。
 - (2) 一大会における同一競技の参加は地区予選会も含めて、1度のみとする。地区予選参加後に転校した場合、転出先での同一競技の地区予選会への出場は認めない。ただし、本大会の出場権を得た個人種目についてはその限りではない。
 - (3) 大会参加料を納めること。(登録選手は、1人一律500円)
 - (4) 選手の参加については、必ず保護者の承認を得ること。
 - (5) 朝鮮諸初・中級学校及び特別支援学校中学部生徒の大会参加を「埼玉県中学校体育大会出場規定」(*資料1)により認める。
 - (6) 拠点校部活動の大会参加については、「埼玉県中学校体育大会拠点校部活動参加規程」(*資料2)により参加を認める。
 - (7) 地域クラブ活動の大会参加については、「埼玉県中学校体育大会への地域クラブ活動の参加資格等の特例について」(*資料3)及び「令和7年度埼玉県中学校体育連盟主催バドミントン競技会における地域クラブ活動の大会参加について(連絡)」(*資料4)により定める。
- 8 監督・引率 *資料引率者(教員)の業務
 - (1) 参加生徒の監督・引率は、出場校(チーム)の校長・教員(教頭を含む)・部活動指導員、地域クラブ活動の代表者・事務担当者(管理者)・指導者とする。
 - (2) 埼玉県中学校体育連盟が主催する大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。また、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当していない者であること。校長(代表者)はこの点を確認して、大会申込書を作成する。
なお、外部指導者は校長から暴力等に関する指導処置を受けていないこととする。
 - (3) 部活動指導員が参加する場合は、「部活動指導員確認書」(「参加細則」資料2)を事前に事務局に提出する。部活動指導員は、他校の引率者及び監督にはなれない。
※「部活動指導員」とは、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。
 - (4) 外部指導者の申請については、「外部指導者の規程」(*資料5)に定める。
 - (5) 保護者引率については、「埼玉県中学校体育連盟保護者引率細則」(*資料6)により認める。

9 参加数

(1) 出場定数

	地区名	団体戦		個人D		個人S			地区名	団体戦		個人D		個人S	
		男	女	男	女	男	女			男	女	男	女	男	女
1	さいたま	7	8	14	16	14	16	10	秩父	1	1	2	2	2	2
2	川口	3	2	5	3	5	3	11	大里	1	1	2	3	2	3
3	県南	1	3	3	5	3	5	12	北埼玉	2	3	3	4	3	4
4	朝霞	2	2	3	3	3	3	13	越谷八潮	4	4	7	7	7	7
5	上尾	1	2	3	3	3	3	14	葛北	4	4	7	6	7	6
6	北足立	2	2	3	4	3	4	15	葛南	4	5	8	7	8	7
7	入間	1	2	3	3	3	3	16	地域クラブ活動	1	1	3	7	3	7
8	比企	1	1	2	3	2	3			*0	*+1	*+1	*+1	*0	*1
9	児玉	1	1	3	3	3	3	17	シード	4	4	8	8	8	8
									合計	40	46	79	87	79	87

(2) 地域クラブ活動の出場数について

令和7年度学総大会及び新人・県総大会については、令和6年度新人・県総大会県大会に出場したチーム・個人数を基準とする。

	項目	男子			女子		
		団体戦	個人戦(複)	個人戦(単)	団体戦	個人戦(複)	個人戦(単)
①	地域クラブ活動の基準となる県大会出場定数(令和7年度)	1	3	3	1	7	7
②	令和6年度新人・県総大会県大会に出場し、令和7年度地域クラブ活動大会に出場しないチーム数・ペア数・選手数	0	0	0	0	0	0
③	令和6年度新人・県総大会県大会に所属校から出場し、令和7年度地域クラブ活動大会に出場するペア数・選手数	*	0	0	*	0	1
④	令和6年度新人・県総大会でのシード獲得数(団体ベスト4、個人ベスト8)	0	1	0	1	1	0
⑤	令和7年度学総。新人・県総大会への出場定数	1	4	3	2	8	8

(3) 団体戦は学校(チーム)対抗2複1単(単・複は兼ねられない)とし、同一校(チーム)選手は5名以上8名以内と監督で1チームを編成する。その他、該当校の校長が認めた外部指導者を入れてもよい。

10 競技規則

(1) 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。

(2) 使用用器具は令和7年度(公財)日本バドミントン協会検定・審査合格品とする。但し、使用シャトルは下記の指定シャトルで第2種検定合格水鳥球以上とし、環境に合致したスピードのものを使用する。(3番を予定)

①大会指定シャトル: ヨネックス、ゴーセン、メトロ、ミズノ、クンプー
(*ヨネックスは、エアロセンサ700以上)

②大会本部で用意するシャトルの銘柄(予定)
ヨネックス、ミズノ、クンプー

11 競技方法

(1) トーナメント方式により順位を決定する。(3位決定戦は原則行う。)

(2) 団体戦は先取マッチ(試合)方法にて行う。複2・単1の対抗とし、複1・単・複2の順に行う。(同一選手が、単と複1・2及び、複1と複2を兼ねて出場することはできない。)

(3) 個人戦は単と複を兼ねて出場することができる。

12 表彰

(1) 団体戦並びに個人戦の第1位には、優勝杯(持ち回り)を授与する。

①男女別の開始式(団体戦開催日)において、優勝杯返還を実施するので、該当校(チーム)は持参すること。

②前年度優勝（令和6年度大会）

	団体戦	個人戦ダブルス	個人戦シングルス
男子	埼玉栄中学校	萩原 駿希・松本 眞優 (埼玉栄中学校)	山口 晃央 (埼玉栄中学校)
女子	埼玉栄中学校	皆川 恵葉・深澤 果帆 (埼玉栄中学校)	星野 結衣 (埼玉栄中学校)

- (2) 団体戦並びに個人戦の第1位から第3位までの選手には賞状を授与する。団体戦は、学校用賞状も授与する。
 (3) 団体戦並びに個人戦の第1、2位の選手にメダルを授与する。
 (4) 表彰の内訳

種類	種目	男女	優勝	準優勝	3位	3位	総数	授与者
優勝杯	団体戦	男子	1	*	*	*	6	埼玉県中学校体育連盟 *持ち回りとする。
		女子	1	*	*	*		
	個人戦D	男子	1	*	*	*		
		女子	1	*	*	*		
	個人戦S	男子	1	*	*	*		
		女子	1	*	*	*		
賞状	団体戦	男子	9	9	9	9	96	埼玉県中学校体育連盟 *団体戦は、学校用賞状1枚を含む
		女子	9	9	9	9		
	個人戦D	男子	2	2	2	2		
		女子	2	2	2	2		
	個人戦S	男子	1	1	1	1		
		女子	1	1	1	1		
メダル	団体戦	男子	8	8	*	*	44	埼玉県教育委員会 埼玉県中学校体育連盟
		女子	8	8	*	*		
	個人戦D	男子	2	2	*	*		
		女子	2	2	*	*		
	個人戦S	男子	1	1	*	*		
		女子	1	1	*	*		

1.3 参加申込

- (1) 所定の大会関係書類をHP（埼玉県バドミントン協会中学の部）よりダウンロードし、必要事項を明確に入力の上メール送信にて仮申込を行うこと。氏名・チーム名等はプログラムにそのまま使用するので正確に入力のこと。 ※7月1日（火）までに
 <大会参加仮申込先>
 仮申し込み先メール k.yamauchi@saibad.jp 山内 賢人（越谷市立富士中学校）宛
 (2) その後、押印された正式な参加申込書は、県大会代表者会において地区常任委員を通して提出する。A3判サイズで片面印刷し縮小拡大しないこと。
 ※メールにて仮申込した文書と正式申込書の記入内容に差異がないように注意し、仮申込送信後の選手変更等は所定の方法にて行うこと。

1.4 参加料

- (1) 参加選手（大会申込書に記入された選手）一人につき500円とする。
 ※団体戦と個人戦の両方に登録されても500円とする。
 (2) 参加料の支払いについては、下記のどちらかを選択する
 ①各地区常任委員、地域クラブ活動代表者の指示による。
 ②7月7日（月）の午前中までに下記銀行口座に振り込むこと。振込手数料は各校の負担とする。学校・チーム名が分かるようする。カタカナ・数字の合計12文字まで。
 (例) 越谷栄進中 → コシガヤエイシン（8文字）

<銀行口座> 埼玉りそな銀行越谷支店 口座番号 普通 4736001 口座名義 埼玉県中学校体育連盟バドミントン専門部 代表 関根 冬藏
--

- (3) 参加料の受領証は埼玉県中学校体育連盟バドミントン専門部が発行し、領収書は埼玉県中学校体育連盟が発行する。

15 組合せ

- (1) レフェリーもしくは、デピュティレフェリーの指示の下、埼玉県中学校体育連盟バドミントン専門部の組合せ申し合わせ事項（内規）により、組合せを行う。
- (2) 個人戦組み合わせ担当者会議を、令和7年7月5日（土）9時00分より、越谷市立栄進中学校さくら学級2組にて行う。
- (3) 組合せ会議は、令和7年10月8日（火）、スポーツ総合センター302研修室にて13時15分からの代表者会議終了後に行う。

16 代表者会議

- (1) 令和7年7月8日（火）13時15分、スポーツ総合センター301・302研修室
- (2) 県大会に出場する学校・チーム（団体戦、個人戦DS共に）の顧問・代表者等の1名は、必ずバドミントン競技代表者会議に参加すること。ただし、個人戦のみの出場校は代理者の出席を認める。（常任委員などに必ず依頼すること）代表者会議に依頼者も含む出席のない学校（チーム）は、出場を認めない。
- (3) 今年度より大会当日の監督会議・審判会議を行う。
- (4) 代表者会議資料に関する資料を7月7日（月）9時00分までに、埼玉県バドミントン協会中学の部（埼玉県中学校体育連盟バドミントン）のHPに掲載するので、ダウンロードし印刷して持参すること。

17 連絡先

- (1) 大会開催前は、参加申込データ提出先 k.yamauchi@saibad.jp 山内 賢人、または、直通TEL080-4163-8117（歸山 広規）とする。
- (2) 大会期間中は、大会会場または直通TEL080-4163-8117（歸山 広規）とする。
- (3) 大会情報 埼玉県中学校体育連盟バドミントンHP
<http://www.saibad.com/chuugaku/chuugaku.html>
- (4) 大会速報



18 その他

- (1) 競技中の着衣については、令和7年度（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。着衣表示については、（公財）日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。但しウェアの表示については、一部、（公財）日本中学校体育連盟バドミントン競技部申し合わせ事項に準ずる。
※（公財）日本中学校体育連盟バドミントン競技部申し合わせ事項については、（公財）日本中学校体育連盟バドミントン競技部ホームページ（<http://chubad.jp>）で確認すること。
①『全国中学校バドミントン大会【着衣表示申し合わせ事項】〈着衣表示〉について（朱入り）』
②『全国中学校バドミントン大会【着衣表示申し合わせ事項】〈着衣表示〉について（朱なし）』
③『全国中学校バドミントン大会着衣表示について【着衣表示申し合わせ事項】〈補足説明〉』
※背面ゼッケンの表示については、競技・審判上の注意を参照すること。
- (2) 地域クラブ活動については、（公財）日本中学校体育連盟バドミントン競技部ホームページ（<http://chubad.jp>）で確認すること。
『令和7年度 地域クラブ活動参加に関する質問・回答 について』
- (3) 大会期間中の負傷・疾病については応急手当のみ行う。また、補償措置については、学校からの参加においては、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。地域クラブ活動においては、チーム代表者の責任のもと加入している傷害保険等の定めを適用する。
- (4) 今大会の対戦結果により、団体戦は上位4チーム、個人戦の上位8名・8組を令和7年度埼玉県中学校新人体育大会兼第38回県民総合スポーツ大会〈中学校の部〉県大会の地区シードとする。
- (5) 大会参加に関しては、大会実施要項及び参加細則、競技・審判上の注意、県大会に関する資料を順次、埼玉県バドミントン協会中学の部にHP（埼玉県中学校体育連盟バドミントン専門部）に掲載するのでダウンロードして内容を確認すること。

令和7年度 埼玉県中学校総合体育大会<中学校の部> バドミントン競技会 参加細則

大会参加にあたり、以下の点についてご理解とご協力をお願いします。

参加校監督より各校（チーム）参加者並びに帯同者への周知徹底をお願いします。

* 1→帯同者とは、トレーナー、保護者、審判・応援生徒等を含むチーム関係者のことです。

1 大会参加に際して

- (1) 参加者（選手、監督、マネージャー、外部指導者、保護者引率者）並びにトレーナー、保護者、応援生徒等の帯同者は、本大会が埼玉県の中学校生徒を基盤とした学校教育活動下での大会であることを認識し、その歴史的な意義や品位を保つ行動を心がけてください。
- (2) 競技会場（1. 2F）入場時には、吊り下げ式IDカードを必ず掲出してください。
* 資料1【入場許可証（IDカード）の作成と着用方法について】（サンプル・印刷用）
<各自用意>作成方法については、HPに掲載します。ダウンロードして作成してください。
 - ① 中学校：監督（校長・教員（教頭を含む）・部活動指導員・外部指導者）
 - ② 地域クラブ：監督（県中体連に登録済みの代表者・事務担当者（管理者）・指導者）
 - ③ 保護者引率者
 - ④ 観戦保護者
 - ⑤ 大会運営員
 - ⑥ 選手は、背面ゼッケンがID
 - ⑦ 審判生徒は、ジャージ等で確認○各校管理職等（応援）→各校で通常使用しているID
- (3) 参加者は、服装等を整えるとともに、大会運営に協力してください。
- (4) 選手は、儀礼（表彰、試合入退場・あいさつ時）の際は、上衣の裾は下衣の中に入れてください。
- (5) 熱中症対策について
参加校（チーム）・参加者は、選手・応援生徒用の熱中症対策グッズ（携帯用クーラーボックスの中に、氷・保冷剤・氷嚢・経口補水液）を携行して大会に参加してください。

2 引率・監督について

- (1) 参加選手の監督・引率は、出場校（チーム）の校長・教員（教頭を含む）・部活動指導員、地域クラブ活動の代表者・事務担当者（管理者）・指導者とします。
- (2) 引率・監督者は同一人とします。また、団体戦及び個人戦の両方に出場する場合は、監督は同一人とします。
- (3) 部活動指導員について（地域クラブ活動は該当しません。）
 - 1) 「部活動指導員」とは、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいいます。
 - 2) 部活動指導員が参加する場合は、「部活動指導員確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、代表者会議1週間前までに埼玉県中学校体育連盟事務局宛にFAX送信してください（048-822-0281）。* 資料2【部活動指導員確認書（校長承認書）】
~~(048-822-0281)事務局へ提出してください。を事前に事務局に提出してください。~~
 - 3) 部活動指導員は、他校・地域クラブ活動の引率者及び監督にはなれません。
- (4) 外部指導者について（地域クラブ活動は該当しません。） * 【実施要項】の資料6
 - 1) 外部指導者とは、当該校長が人格・指導面において優れていると認めた者（満20歳以上）であり、学校の教育方針に基づき、顧問教師の指導計画に従い、日頃から継続して運動部活動指導にあっている者とします。
 - 2) 外部指導者は、1チームにつき1名とします。
 - 3) 同一人が複数校の外部指導者にはなれません。
 - 4) 教職員は、外部指導者として登録はできません。
 - 5) 参加申込書の「外部指導者」の欄に必要事項を記入してください。
 - 6) 外部指導者の引率及び監督について
 - ① 大会に参加する学校（チーム）において、教員（教頭を含む）や部活等指導員による引率できない状況が発生した場合、校長が適切であると承認した外部指導者（コーチ）の引率・監督を認めます。
 - ② 引率・監督をする場合、大会運営にも協力してください。
 - ③ 外部指導者が引率・監督を務める場合は、所定の「外部指導者確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、代表者会議1週間前までに埼玉県中学校体育連盟事務局宛にFAX送信してください（048-822-0281）。* 資料3【外部指導者確認書（校長承認書）】
- (5) 個人戦における保護者引率について（地域クラブ活動は該当しません。）
* 【実施要項】の資料7 6
 - 1) 当該運動部が学校に設置されていない個人種目に生徒が希望し保護者からの申し出があった場合は、校長は次の処置を講ずることができます。
 - 2) 校長は、校長・教員が生徒を引率することにより学校運営等に支障があると判断した場合、「中学校体育大会保護者引率細則」に基づき申し出のあった保護者を引率者とすることができます。
 - 3) 団体戦に出場した学校の個人戦における保護者引率は基本的に認めません。但し、団体戦・個人戦の参加種目が別日であれば、保護者引率を認めます。
 - 4) 引率者としての保護者は、監督の資格を認めません。

- (6) 適切な引率について 各学校（チーム）の引率規定 ***資料4【引率者の業務について】**
- 1) 交通ルールを守り、適切なマナーを心がけてください。（近隣への迷惑行為、ゴミの始末等）
 - 2) 保護者引率者は、必ず事前に学校側と打ち合わせを行い大会に参加してください。
 - 3) 引率者（監督・保護者引率者）は必ず会場において選手及びチーム関係者の健康管理に努めてください。また、生徒の様子を適宜確認してください。生徒の健康安全が第一です。

3 参加申込について

- (1) 所定の大会関係書類をHP（埼玉県バドミントン協会中学の部）よりダウンロードし、必要事項を明確に入力の上メール送信にて仮申込を行ってください。氏名・チーム名等はプログラムにそのまま使用するので正確に入力してください。 ※7月1日（火）までに
 <大会参加仮申込先>
 仮申し込み先メール k.yamauchi@saibad.jp 山内 賢人（越谷市立富士中学校）宛
- (2) その後、押印された正式な参加申込書は、県大会代表者会において地区常任委員を通して提出してください。A3判サイズで片面印刷し縮小拡大しないでください。
 ※メールにて仮申込した文書と正式申込書の記入内容に差異がないように注意し、仮申込送信後の選手変更等は所定の方法にて行ってください。

4 県大会出場校一覧の確認について

大会参加仮申込データの受付状況を大会ホームページ「県大会出場校」に掲載しますので、必ず確認してください。

5 出場登録者（監督・団体戦選手）の変更について ***資料5【出場登録者変更届】**

- (1) 変更する者1名ごとに本書を作成してください。
- (2) 代表者会議日13時15分以降の団体戦選手の追加、個人戦選手の変更は認めません。（例：7名選手登録し、以後、更に1名選手を追加する。）
- (3) 大会出場1日目の朝の開始式前までに「出場登録者変更届」を大会事務局に提出してください。以後は受付はできません。

6 参加料の納入について ***【大会要項】の15に記載**

7 会場への交通案内 ***資料6【会場への交通案内】**

予定	熊谷駅から会場まで		乗用車	中型バス	大型バス
	路線バス	タクシー			
7月14日（月）	名	台	台	台	台
7月15日（火）	名	台	台	台	台
7月22日（火）	名	台	台	台	台
7月23日（水）	名	台	台	台	台

※路線バスに乗車できない場合は、タクシー利用の準備も想定してください。

8 駐車場について ***資料7【熊谷スポーツ文化公園 駐車場案内】**

- (1) 駐車場は、P3. 5. 6. 7駐車場を中心に使用してください。
- (2) バスなどの大型車は、東第2多目的広場に駐車してください。
- (3) 同日開催の他競技について
 7月22日（**月火**）ソフトテニス中学県大会（女子個人戦）
 その他なし **※7月20日（日）～22日（火）熊谷うちわ祭り**

9 競技会場の入場について 朝、引率・監督者は生徒と共に入場し指導してください。

日にち	大会運営員 受付 (1F入口)	競技役員 準備担当校 入場	出場校（チーム） 保護者引率者 入場	保護者・応援生徒 入場	その他（報道等）
7月14日（月）	8：00	8：05	8：25 地区ごとに整列	8：40	随時 ※その都度、行ってください。
7月15日（火）			8：30 順番に入場	朝の整列順に入場	
7月22日（火）			8：15 地区ごとに整列	8：30	
7月23日（水）			8：20 順番に入場	朝の整列順に入場	
			8：25 地区ごとに整列	8：40	
			8：30 順番に入場	朝の整列順に入場	
			8：15 地区ごとに整列	8：30	
			8：20 順番に入場	朝の整列順に入場	

***資料8【大会会場入場可能者について】**

- (1) 整列について ***資料9【朝の入場について】**
- (2) 体育館への入場について ***資料10【会場案内図】**
 - ①参加チーム・保護者・応援等：入場時、1F出入口から2Fへ移動してください。退場時、2Fから1F出入口へ移動してください。
 - ②大会役員・競技役員等：1F出入口から入退場してください。

- (3) 体育館内の履き物について
 1階の下足箱入れは使用できません。シューズ袋を各自用意してください。
 ・1階：室内用シューズを使用してください。
 ・2階：室内用シューズを使用してください。

10 競技会場内スペースの使用について *資料10【会場案内図】
 *資料11【会場座席各地区割り振り図】(団体戦・個人戦)
 *資料12【会場を利用する皆さんへのお願い】

- (1) 競技会場内のスペースを独占しての使用はできません。通路やロビー等での敷物・荷物等での場所取りはご遠慮ください。
 (2) 各学校(チーム)は、地区ごとに指定された場所に、座ってください。保護者・応援生徒席は、保護者・応援生徒席を使用してください。各地区の座席後方が空いている場合は、地区常任委員の指示により、保護者・応援生徒の着席を可とします。生徒の座席を移動しての応援は不可とします。
 (3) 荷物、貴重品の管理については、各自の責任で行ってください。大きい荷物がある場合、各地区座席後方通路に整頓して置き、通行に支障がないようにしてください。
 (4) けがの予防や処置等の施術を行うスペース(2階トレーナースペース)は、譲り合って利用してください。

11 競技フロア内への入場可能者について

◆競技フロア内への入場は以下の者とし、各自で用意したIDカードをつけていないと入場することはできません。

<学校(チーム)関係者> 出場登録選手、監督、外部指導者
 <大会関係者> 来賓、大会役員、競技役員、審判員、視察員、業者、報道等

12 参加チームの競技フロアへの入退場について *資料10【会場案内図】

- (1) 競技フロアへの入場時 西側階段・西側競技フロア入口を使用
 (2) 競技フロアからの退場時 東側階段・東側競技フロア出口を使用

13 諸会議及び開閉会式について

- (1) 組合せについて
 レフェリーもしくは、デピュティレフェリーの指示の下埼玉県中学校体育連盟バドミントン専門部の組合せ申し合わせ事項(内規)により、組合せを行います。
 ①個人戦組み合わせ担当会議 令和7年7月5日(土)9時00分より
 越谷市立栄進中学校さくら学級2組
 ②組合せ会議 令和7年7月8日(火)、スポーツ総合センター302研修室
 13時15分からの代表者会議終了後
 (2) 代表者会議 令和7年7月8日(火)、スポーツ総合センター301・302研修室
 13時15分～ 参加申込書等提出、県大会参加費の徴収
 13時40分～ 団体戦組合せ抽選、大会確認事項伝達
 ①県大会に出場する学校・チーム(団体戦、個人戦DS共に)の顧問・代表者等の1名はバドミントン競技代表者会議に参加してください。但し、個人戦の参加者のみ出場の場合については代理者(常任委員、専門部役員、当日参加する他の出場校(チーム)の代表者)の出席を認めます。代表者会議出席は大会出場の条件です。代理者もなく代表者会議に出席のない学校(チーム)は、出場を認めません。
 ②保護者引率の学校についても、必ず当該中学校の教員が出席してください。
 ③学校規模が小さく複数人の出張が不可能で、複数の競技の代表者会議に出席しなければならない場合は、バドミントン県大会参加申込書を提出し他の競技の代表者会に出席した後、バドミントン会議会場に戻り地区常任委員から会議内容を確認してください。事前に地区常任委員と専門委員長歸山に連絡してください。
 ④代表者会議資料に関する資料を7月7日(月)までに、埼玉県バドミントン協会中学の部(埼玉県中学校体育連盟バドミントン専門部)のHPに掲載するので、ダウンロードし印刷して持参してください。
- (3) 保護者引率者受付

	日にち	種目	時間	場所
①	7月22日(火)	男女個人戦ダブルス	練習開始時 (9時25分)	1F 役員室(控室2)監督会議会場 総務部長:歸山まで
②	7月23日(水)	男女個人戦シングルス	練習開始時 (9時15分)	1F 役員室(控室2)監督会議会場 総務部長:歸山まで

(4) 開始式

	男子	女子
日時	7月14日(月) 9:00～	7月15日(火) 8:50～
内容	各地区指定の観客席に着座 優勝杯返還者・選手宣誓選手のみフロアへ	
①あいさつ	熊谷市中学校体育連盟会長 (熊谷市立大幡中学校長) 山田 健司 様	熊谷市中学校体育連盟会長 (熊谷市立大幡中学校長) 山田 健司 様
②優勝杯返還	<前年度優勝> 団体戦：埼玉栄中 個人戦ダブルス：埼玉栄中 個人戦シングルス：埼玉栄中	<前年度優勝> 団体戦：埼玉栄中 個人戦ダブルス：埼玉栄中 個人戦シングルス：埼玉栄中
*該当校(チーム)は、大会当日、優勝杯をご持参ください。		
③選手宣誓	R6年度新人・県総大会男子S 優勝者 篠原 康輔(埼玉栄)	R6年度新人・県総大会 女子S 優勝者 中野 日麗(埼玉栄)
④レフェリーより	藤松 津吉(大宮商業高 県協会)	三浦 泰子(県協会)
⑤諸注意	大澤 一之	大澤 一之

(5) 表彰式

- ①各日、試合終了後、競技フロア(2コート付近)にて行います。
- ②1～3位に入賞した団体戦チーム・個人戦選手が参列してください。
- ③整列隊形

男女団体戦					男女個人戦ダブルス					男女個人戦シングルス				
テーブル					テーブル					テーブル				
授与者	4	3	2	1	授与者	4	3	2	1	授与者	4	3	2	1
				🏆					🏆					🏆
	3位	3位	2位	1位		3位	3位	2位	1位		3位	3位	2位	1位
選手	1	1	1	1	男子	○	○	○	○	男子	○	○	○	○
	2	2	2	2	選手	○	○	○	○	選手	○	○	○	○
	3	3	3	3	女子	○	○	○	○	女子	○	○	○	○
	・	・	・	・	選手	○	○	○	○	選手	○	○	○	○
	・	・	・	・										

1.4 応援等について

日本中学校体育連盟バドミントン競技部ホームページに掲載されている、『全国中学校バドミントン大会並びに全日本中学生バドミントン選手権大会における【応援及び競技中の選手の声出し等】について』を確認してください。

(1) 応援に関しては、

1. 応援は、拍手(手拍子等リズムを取ることも含める)並びに声援とします。
2. 鳴り物の使用、足を踏み鳴らす行為等の応援は認めない。団扇を叩くのは不可とします。
3. フリップについては、今大会は不可とします。
4. 応援用の横断幕や幟の設置については、会場の状況によります。
5. 会場の規模や状況、競技・大会運営に支障があると主催者側が判断した場合、制限を加えることがあります。

(2) 横断幕(応援旗)の設置に関しては、

横断幕(応援旗)等は競技に支障をきたさない大きさのものを使用してください。競技に支障をきたすと判断される場合には、移動をお願いします。また、横断幕(応援旗)等は観覧席に掲示するものとし、貼り付ける場合にはひも等を使用してください。テープでの貼り付けはできません。

1.6 練習について

- (1) 外での練習 ラケットやシャトル等を使用した練習はできません。ジョギングコースに留意してください。
- (2) 公式練習(競技フロア内での練習) *資料13【タイムテーブル】
- (3) 会場内で、ジョギングやラケットやシャトル等を使用した練習はできません。

1.6 配布物について

- (1) 朝の公式練習(競技フロア内での練習)終了後、プログラム表紙を本部(2コート前)に取りに来てください。
- (2) 団体戦 配布数(登録監督者数+登録選手数) *選手代表者1名が取りに来てください。
- (3) 個人戦 配布数(登録監督者数+登録選手数) *団体戦や個人戦と重複していない場合に配布しま

す。
※団体戦・個人戦D・個人戦Sで重複して出場している場合は、一人1部のみです。

17 撮影について

- (1) フラッシュを使用した撮影はプレーの妨げになりますので、厳禁とします。試合中の撮影は、バッテリーを使用した撮影のみ認めます。競技会場内の電源を使用することはできません。本大会で撮影した画像や映像を、無許可でSNS等に使用しないでください。
- (2) 競技中、競技フロアで撮影できるのは、競技役員と指定の写真業者のみです。
- (3) 撮影業者による写真撮影について
 - ①撮影業者 (株)プロフォートサニー(埼玉県中学校体育連盟許可業者)
 - ②撮影日 7月14日(月)男子団体戦、7月15日(火)女子団体戦
 - ③撮影対象 1)競技中を中心に 2)チーム集合写真(原則、該当校の競技終了後、撮影します。)
 - ④撮影担当者は、IDとして埼玉県中学校体育連盟のビブスを着用します。
 - ⑤後日、撮影業者から各学校にサンプルが送付されます。

*撮影を希望しない場合は、7月11日(金)までに、帰山携帯にメッセージ送信してください。
(例)〇〇中(男女子)写真撮影不可 関根携帯:080-4163-8117

18 飲食について

- (1) 指定された座席でお願いします。
- (2) 食中毒の発生防止に向けて飲食物に注意させてください。

19 環境への配慮について

- (1) ゴミ等は各校(チーム)で責任を持って持ち帰り処分してください。
- (2) 生徒の自動販売機の使用は禁止とします。保護者の方が自動販売機を使用した場合は、空き容器はお持ち帰りください。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願い致します。(一昨年度の県大会の際に、体育館2階観客席裏側の自動販売機周辺にペットボトルの空き容器が散乱していましたが。)

20 インフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応について

- (1) 学校・チーム及び参加者個人の責任において、うがい・手洗い・マスクの着用・アルコール消毒などの予防に努めてください。
- (2) 参加者及び引率者の責任において、健康観察記録等により参加選手等の健康観察を行い記録してください。
- (3) 各種状況により大会の開催の有無の判断や開催の制限を行う場合は、ホームページで連絡します。

21 緊急時対応について

- (1) 各学校(チーム)の引率者・監督は、学校(自宅)から会場までの往復の経路間での事故や災害(地震・雷雨・竜巻等)など緊急時の連絡方法や避難場所、避難方法等の確認をしてください。
- (2) 会場内の避難経路を確認してください。 *資料10【会場案内図】
- (3) 地震、火災発生時は、本部や体育館担当者の指示に従って行動してください。
- (4) 事故等の問題発生や予見した場合は、直ちに本部へ報告してください。
- (5) 競技会場での事故による応急処置はいたしますが、その後の責任は各参加者の負担となります。また、傷病発生の場合には、必ず大会本部まで届け出てください。
*資料14【令和6年度 大会の競技役員補償について(県中体連)】
- (6) AEDは本部(救護)・体育館事務室横にあります。緊急時、躊躇せずにご利用してください。
*資料15【<体育活動時等における事故対応テキスト~ASUKAモデル~>より】

22 その他

- (1) 不審者や盗撮防止にご協力ください。(担当者が巡回します)
- (2) 貴重品は、各自で管理してください。盗難・紛失には責任を負いかねます。
- (3) 忘れ物について、
 - 7月14日(月)15日(火)の忘れ物
→本部で保管した後、15日(火)撤収時に体育館事務室へ
 - 7月22日(火)23日(水)の忘れ物
→本部で保管した後、23日(水)撤収時に体育館事務室へ

競技・審判上の注意

- 1 この大会は、令和7年度（公財）日本バドミントン協会競技規則および大会運営規程ならびに公認審判員規程、埼玉県中学校体育大会実施要項、令和7年度埼玉県学校総合体育大会＜中学校の部＞バドミントン競技会実施要項、参加細則により行います。また、令和7年7月8日（火）開催の代表者会議の申し合わせ事項に準拠し運営します。

【使用用器具等】

- 2 使用用器具は令和7年度（公財）日本バドミントン協会検定・審査合格品とする。但し、使用シャトルは下記の指定シャトルで第2種検定合格球以上とし、環境に合致したスピードのものを使用します。（3番を予定）

- (1) 大会使用指定シャトル：ヨネックス、ゴーセン、メトロ、ミズノ、クンプー
 (*ヨネックスは、エアロセンサ700以上)
 (2) 大会本部で用意するシャトルの銘柄と個数（予定）

	男子			女子		
	試合番号	メーカー	シャトル数	試合番号	メーカー	シャトル数
団体戦	1 ~ 33	ミズノ	1	1 ~ 40	クンプー	1
	D1:1個、S:1個、D2:1個 準決勝以降			D1:1個、S:1個、D2:1個 準決勝以降		
	ヨネックス すべて			ヨネックス すべて		
個人戦 ダブルス	1 ~ 62	ミズノ	2	1 ~ 69	ヨネックス	2
	準々決勝以降			準々決勝以降		
個人戦 シングルス	1 ~ 68	ヨネックス	2	1 ~ 69	ミズノ	2
	準々決勝以降			準々決勝以降		
	ヨネックス すべて			ヨネックス すべて		

- (3) 本部から出されたシャトルをすべて使用したときは、交互に持ち寄った指定シャトルを使用してください。

- (4) 本部から出された指定シャトルを使用したくない場合は、双方の合意があれば他の指定シャトルを持ち寄って使用することができます。

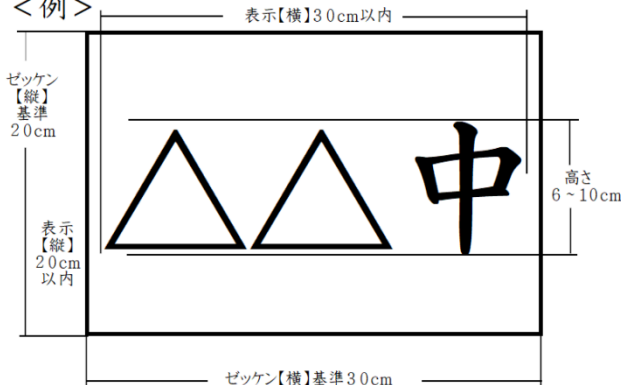
- 3 プレーヤーは、マッチ中、ステンシルマーク入りのラケットの使用はできません。
- 4 審判員は、参加選手並びに各地区の分担にて配置します。サービスジャッジは、原則、配置しません。線審は2人編成で配置をお願いします。
- 5 サービス高の測定は、ネットの支柱の印（115cm）を使用してください。
- 6 競技用ウェアは、（公財）日本バドミントン協会審査合格品とします。上衣背面中央部には、縦20cm、横30cmの範囲内に校（地域クラブチーム）名の表示してください。その際に、競技用ウェア上衣背面にロゴや規定外の文字を直接プリントしている場合は、ゼッケンを用い、四隅を留めてそれを見えないようにしてください。また、表彰・入退場・あいさつの際には、上衣の裾は下衣の中に入れてください。 *資料1【プレーヤーの服装について】
- 7 上衣の背面中央に必ず中学校（地域クラブチーム）名を明記してください。ゼッケンを使用する場合、白の布地で縦20cm、横30cmの大きさを基準とします。（ゼッケンの場合の文字の色は、黒色または濃紺色とします。）文字列、背番号は視認性の高い文字（楷書体・明朝体またはゴシック体のような文字、数字（算用数字）を使用し、文字、数字の色は上衣背面の文字列、背番号表示部分の色と明確に区別できる色とします。
 ※アルファベットを用いる場合は、大文字を使用することを推奨します。

①中学校

<正式名称> ○○市立△△中学校

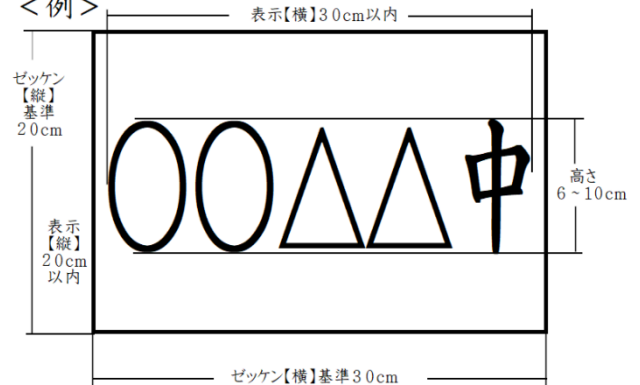
<ゼッケン・プログラム対戦表用名称> △△中

<例>

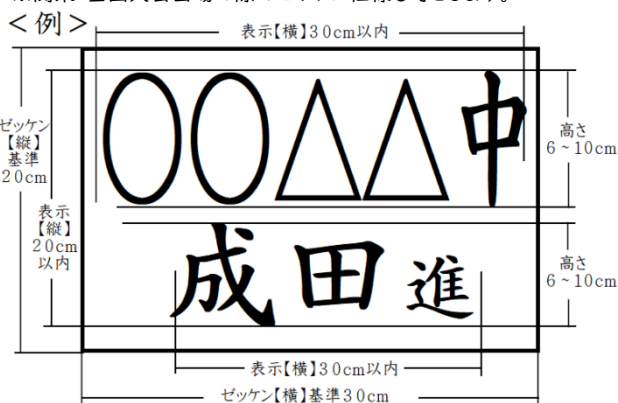


※県内に△△中が複数ある場合は、○○を入れてください。

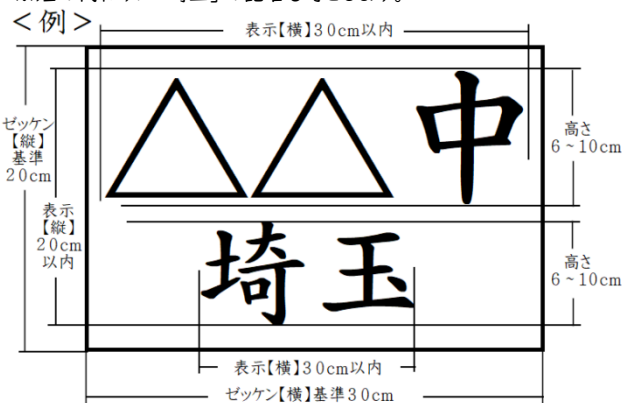
<例>



※関東・全国大会出場の際のゼッケン仕様も可とします。



※姓の代わりに「埼玉」の記名も可とします。



②地域クラブチーム

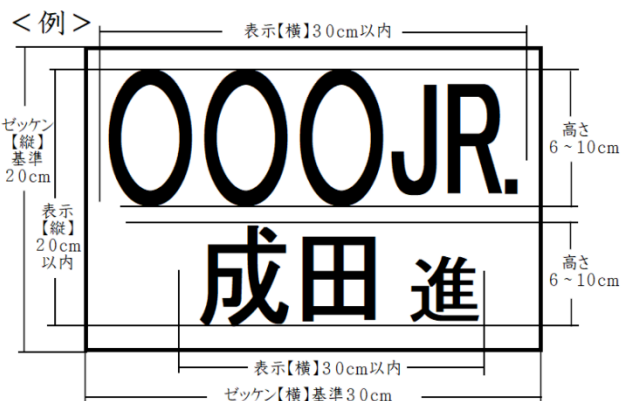
<正式名称> ○○○ジュニアバドミントンクラブ

<ゼッケン・プログラム対戦表用名称> △△△ JR.

※アルファベットを用いる場合は、大文字・小文字ともに可とします。

「大会運営規程 第24条(1)④の改訂について」(令和6年8月13日、公益財団法人日本バドミントン協会)

※関東・全国大会出場の際のゼッケン仕様も可とします。



8 防汗や整髪のために、ハチマキの使用は認めますが、体裁良く結んでください。インナーについては露出する場合は、審査合格品とします。

9 競技エリア内では、監督・外部指導者は作成したIDカードを必ず携出してください。出場登録選手や生徒審判員は、上衣にプリントされた学校名の背面表示、あるいはジャージ等をIDカードの代替とすることを認めます。

10 ベンチまたはコーチ席に入る時の服装(監督)は、公認審判員規程第5条第12項(8)に従い、マッチにふさわしい服装で臨んでください。例えば、チームユニフォーム(Tシャツの場合、チーム名の表記があること)、シャツ、ポロシャツ、ブラウス、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチサンダル、バミューダ、ショーツ(七分丈パンツを含む)、スリッパ、サンダルは禁止とします。その適否判断は大会レフェリーに委ねるものとします。また、コーチ席に座る者全てにこの規定は適用されま

す。 *資料2【コーチの服装について】

※指定された関東大会記念Tシャツは可とします。

※今大会は、生徒の短パン(ハーフパンツ、七分丈パンツを含む)でのコーチ席への着席を可とします。

【競技場への入場可能者】 【参加細則】の資料8に記載

1.1 監督について

- (1) 中学校：当該校の校長・教員(教頭を含む)・部活動指導員・外部指導者とします。引率を兼ねない外部指導者は、原則、当該校の校長・教員(教頭を含む)・部活動指導員と同席してください。
- (2) 地域クラブ：当該チームの代表者・事務担当者(管理者)・指導者とします。
- (3) IDカードを必ず身につけてください。

1.2 団体戦について

- (1) 団体戦でベンチ入りができるのは、参加申込書に記載された監督のうち3名まで、選手5~8名のみとします。登録の際に、監督になる可能性のある者すべてを記入してください。
- (2) 団体戦の選手の追加は認めません。

<団体戦チーム> 登録可能者 監督3名、選手5～8名（同一校・チーム）

	引率者・監督	選手	その他
学校	下記の中から3名 出場校の ①校長 ②教員（教頭を含む） ③部活動指導員 ④外部指導者	5～8名	*引率を兼ねない外部指導者は、原則、当該校の校長・教員（教頭を含む）・部活動指導員と同席してください。
地域クラブ活動 （登録済みの所属員あること）	下記の中から3名 ①代表者 ②事務担当者（管理者） ③指導者	5～8名	

※部活動指導員が参加する場合は、「部活動指導員確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、代表者会議1週間前までに埼玉県中学校体育連盟事務局宛にFAX送信してください（048-822-0281）。

※外部指導者が引率・監督を務める場合は、所定の「外部指導者確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、代表者会議1週間前までに埼玉県中学校体育連盟事務局宛にFAX送信してください（048-822-0281）。

1.3 コーチ席について

- (1) コーチ席は各コート両サイド2席ずつ用意します。
- (2) コーチ席はチェンジエンスごとに入れ替わってください。（団体戦登録選手位置はそのまま）
- (3) コーチ席には、原則、監督が優先して着座してください。

<コーチ席着席可能者>

	団体戦	個人戦
学校	監督・団体戦登録選手の中から2名まで *引率を兼ねない外部指導者は必ず監督と同席してください。外部指導者のみは認めません。但し、2コート以上で試合を行っている場合を除きます。	登録監督・当該校生徒（登録選手・審判生徒：男女問わず）の中から2名まで *保護者引率校：選手と同一校の他の個人戦登録選手（保護者引率校の引率保護者は、埼玉県中体連の規定により、コーチ席へは着席できません。）
地域クラブ活動 （登録済みの所属員あること）	監督・団体戦登録選手の中から2名まで	登録監督・当該校生徒（登録選手・審判生徒：男女問わず）の中から2名まで
備考	2コート以上で試合を行っている場合は、それぞれのコートのコーチ席に2名までベンチ入りしている者が入ることができます。	

【試合進行】 *資料3【練習及び競技中の注意点・審判員の仕事】

*資料4【県大会の主審線審の仕事について】

*資料5【コート設置図】

※資料3～5を参考にし、日々の練習・練習試合・地区大会等において周知・推奨をお願いします。（コートへの入場・整列・あいさつ、マッチ開始前のトスの位置、主審のコール、線審・得点業務等）

1.4 団体戦のマッチ順序は、D1→S→D2の順に行い、2マッチ先取で打ち切りとします。2マッチ先取で打ち切りとし、その後のマッチは行いません。マッチの進行状況により、最初から2、3コート並行で実施することがあります。

1.5 放送の指示に従って本部（進行）にオーダー用紙を提出してください。
※オーダーは、対戦相手に迷惑をかけないように速やかに提出してください。

1.6 タイムテーブルに基づいてマッチを進行します。進行状況により予定されたマッチの開始時刻やコートを変更することがありますので放送に注意してください。

- (1) 団体戦 1～3回戦→2コートに流し込みでマッチを入れていきます。
1コート空いた時点で次のマッチを入れます。
3コートでマッチを展開することもあります。

準々決勝戦以降→指定された3コートでマッチを行います。

- (2) 個人戦 1～4回戦→流し込みでマッチを入れていきます。

準々決勝戦以降→指定されたコートでマッチを行います。

※午前中コートを固定してマッチを入れると、コートによって試合進行に差が出る可能性が高いために、流し込みで入れていきます。監督の方は、下記を参考にしながら試合の進行状況に注視してください。

・『埼玉県中学校バドミントン専門部』HPに速報を掲載します。

1.7 個人戦の順位決定戦については、ダブルス・シングルス共に、その都度、マッチへの参加の有無を確認します。

1-8 選手招集所は設置しません。放送によるマッチのコールを合図にコートに入場します。会場の下り階段を使用して2Fから1Fへ下り、指定された入場口から入場してください。主審がドレスチェックを行います。マッチ終了後は退場口から退場し、会場の上り階段を使用して1Fから2Fへ移動してください。

1-8-9 マッチが連続する場合は、次のマッチまでに少なくとも10分間の間隔を取ります。

1-9-20 団体戦の入場及びベンチは主審に向かって右側を若番(トーナメント表の学校番号の小さい番号)、左側を遅番(トーナメント表の学校番号の大きい番号)とします。個人戦の入場についても、団体戦と同様とします。

2-0-1 全参加校(チーム)が予定時に安全な帰着困難が予想される場合(災害、交通状況等によって)は、新たにタイムテーブルを組み直したり、スコアリングシステムを変更して運営します。中止を決定することもあります。

【会場内での公式練習】

2-1-2 朝の練習相手については次の通りとします。

- (1) 団体戦(5分)……………チーム内
- (2) 個人戦ダブルス(5分)……………パートナー
- (3) 個人戦シングルス(7分)……………タイムテーブルで指定した選手同士
- (4) シャトルは各校(チーム)で用意してください。

2-2-3 マッチ前の練習はありません。

【入場時の携行品】

2-3-4 競技フロアに持って行くものは、交換用ラケット(ケースから出しておく)、着替え用競技用ウェア、タオル、スクイズボトルや水筒等(ペットボトル可)のドリンク、コールドスプレー類、滑り止め剤までとし、各自のバッグ等に収容してください。救急セット、その他のものはベンチまたはコーチ席に置いてください。
(24も参照)

【主審の許可】

2-4-5 水分補給、汗ふき、靴ひもの直し、滑り止めの使用、ストリングス(ガット)を切ることについては下記の点に留意し、必ず主審の許可を得てから行ってください。マッチを中断しないように心掛けてください。ただし、ゲーム中、プレーを不当に中断しない範囲であれば、素早いタオルの使用を認めます。

- (1) 水分補給の際はスクイズボトル・スクイズボトルキャリア・真空断熱スポーツボトル・水筒等(ペットボトル可)を使用してください。コートサイドにはかごやドリンクケースは設置しませんので、バッグ等を持参し、コートサイドに置き、ドリンクも各自のバッグに収容してください。
- (2) 氷嚢の使用はインターバルのときのみ認めます。また、フロア内への大きなクーラーボックスの持ち込みは禁止としますが、ベンチまたはコーチ席の下に入るような小さいソフトケースのものは持ち込みを可とします。ただし、ベンチまたはコーチ席の下に置き、フロアを濡らすことのないように十分注意してください。
- (3) 団扇については、インターバル時のみ使用を認めます。ただし、叩くなどの音を出す行為は、いかなる場合でも禁止とします。
- (4) シューズの滑り止め(シューダスターボードなど)の使用はインターバルのときのみ認めます(主審の許可は不要です)。プレー中はコートサイドに置いたままにせず、コーチ席に置いてください。
- (5) ラケット交換時にストリングス(ガット)を切ることについては、プレーが不当に中断しない範囲で、素早く切ることができる場合に限り認められます。

【スコアリングシステム】

2-5-6 スコアリングは下記とします。

- (1) 個人戦2回戦まで 15点、3ゲームのラリーポイント制
 - ① 15点を先取したサイドがそのゲームの勝者となり、2ゲーム先取した方が勝ちとなります。
 - ② スコアが14点オールになった場合には、その後2点差の得点をしたサイドがそのゲームの勝者となります。
 - ③ スコアが20点オールになった場合には、21点目を得点したサイドがそのゲームの勝者となります。
- (2) 団体戦と(1)の試合以降 21点、3ゲームのラリーポイント制
 - ① 21点を先取したサイドがそのゲームの勝者となり、2ゲーム先取した方が勝ちとなります。
 - ② スコアが20点オールになった場合には、その後2点差の得点をしたサイドがそのゲームの勝者となる。
 - ③ スコアが29点オールになった場合には、30点目を得点したサイドがそのゲームの勝者となります。

【サービス】

2-6-7 サービス時、サーバーのラケットで打たれる瞬間に、シャトル全体が必ずコート面から1.15m以

下とします。

- 2-7-8 サーバーはスピン（回転）を加えずにシャトルを放し、ラケットで最初にシャトルの台を打つものとします。

【インターバル】

- 2-8-9 各ゲームとも11点になったとき時、60秒を超えないインターバル（15点ゲームの場合は8点となった時に）、1ゲームと2ゲームの間、2ゲームと3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認めます。また、インターバルを除き、マッチ中、主審の許可なしにコートから離れてはなりません。

【アドバイス】

- 2-9-3-0 シャトルがインプレーでない場合で、プレーヤーがサービスとレシーブのために位置につくまでの間に限り、プレーヤーはマッチ中のアドバイスを受けることができます。プレーの遅延行為とならないよう、十分に注意してください。プレーヤーはインターバルを除き、マッチ中、主審の許可なしにコートから離れてはなりません。コーチ席に座る者はインプレーでなくなった場合のみ移動できます。

- 3-0-1 インターバル中に、コートでアドバイスできるのは2人までとします。プレーヤーがエンドを変えた後にアドバイスをし、主審の「…20秒」のコールでコートから離れなければなりません。（所定の席についてください。）

- 3-1-2 コートサイドで、コーチはマッチ中、相手側のプレーヤー、コーチ、チーム役員、または担当の審判員と、どのような方法でも連絡（情報交換）を取り合うことはできません。

【抗議・異議、質問】

- 3-2-3 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。審判員の判定に対して疑問がある場合には、次のサービスがなされる前に、またはエンドを変えマッチ終わりであれば訴えるサイドがコートを離れる前に、個人戦ではプレーヤーが、団体戦では当該プレーヤーと監督に限り「質問」をすることができます。

【注意・警告・フォルト・失格】

- 3-3-4 以下の違反をしたサイドに主審は警告をします。一度警告を受けた後、再び違反した場合は、そのサイドをフォルトとします。目に余る振舞い、執拗な違反には、その違反したサイドをフォルトにします。一つのサイドによる警告後の同種の違反行為によるフォルトは執拗な違反とみなされます。
- (1) 体力や息切れを回復するためのプレーの遅延
 - (2) アドバイスを受けることによるプレーの遅延
 - (3) インプレー中にアドバイスを受ける違反
 - (4) プレーを故意に遅らせたり中断したりする行為
 - (5) 審判員や観客に対しての横柄な振る舞い、下品で無礼な態度、言動
 - (6) ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩くこと
 - (7) 耳障りな掛け声や叫び声を発すること
 - (8) 競技規則を越えた不品行または不快な行動

【会場ルール】

- 3-4-5 会場内の施設にシャトルが触れた場合はフォルトとします。（会場ルール）

【怪我・事故】

- 3-5-6 マッチ中に怪我や事故が生じた場合は、主審の判断により、マッチを中断することがあります。必要に応じてレフェリーを呼び、その判断に従います。レフェリーの判断なく、レフェリー以外の者がプレーヤーに近寄ることはできません。

- 3-6-7 試合中の怪我等の応急処置は主催者で行いますが、その後の処置は各自の責任とします。

【棄権】

- 3-7-8 棄権について
- (1) 当該プレーヤーか監督がレフェリーに申し出てください。
 - (2) 対戦前に対戦相手が棄権となった場合、勝者は選手招集のアナウンス後に、大会本部で勝者サインをしてください。
 - (3) 団体戦のマッチを棄権した場合、それ以降の団体戦や個人戦への出場はレフェリー判断とします。
 - (4) 団体戦ではプレーヤーおよび監督、個人戦ではプレーヤーがマッチの開始時にコートへの放送呼び出しに応じず、5分以上経過した場合、不戦勝として棄権の措置をとることがあります。その判断はレフェリーが行います。

【禁止行為】

3-8-9 競技者およびコートサイドにいる者は、試合中における電子通信機器(携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等)の使用を禁止します。コートに持ち込む際は必ず電源を切るかマナーモードにしておいてください。

3-9-40 競技エリア内での撮影は禁止します。(取材・写真販売業者等、あらかじめ許可を得ている者を除きます。)

外部指導者の規程

当該校長が、下記の条件を満たした者を外部指導者として申請した場合は、埼玉県中学校体育連盟が主催及び主管とする各大会での技術指導及び引率・監督を認める。

記

1 外部指導者の資格

外部指導者とは、当該校長が人格・指導面において優れていると認めた者（満20歳以上）であり、学校の教育方針に基づき、顧問教師の指導計画に従い、日頃から継続して運動部活動指導にあたっている者である。

2 複数の学校及び種目の外部指導者としてベンチ入りはできない。

但し、例外として、水泳飛込、体操競技、新体操、スケートについては安全確保等の補助の役割があり、複数校の外部コーチを認める。

3 当該校以外の中学校教職員は、外部指導者として大会に登録することは出来ない。

4 手続き、引率上の留意点等

(1) 大会に参加する学校（チーム）において、教員や部活動指導員による引率ができない状況が発生した場合、校長が適切であると承認した外部指導者（~~コーチ~~）の引率・監督を認める。なお、引率・監督をする場合、大会運営にも協力すること。外部指導者が引率・監督を務める場合は、所定の「外部指導者確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、代表者会議までに県中体連事務局へ提出する。

(2) ①引率時は、公の交通機関を利用する。

②外部指導者は任意の傷害保険等に加入する。加入手続きは外部指導者が行い、費用は原則として自己負担とする。

③引率に関わる外部指導者の費用は、原則として出場校の負担とする。

④大会要項を遵守し、責任ある行動をとる。

5 申請方法

(1) 申請は、各大会ごとの申込用紙「外部指導者」の欄に必要事項を記入する。

6 その他

(1) 外部指導者の身分保証は、当該校長が責任を負う。

(2) 規程違反や不適切な言動等があった場合は、不適格者として会長又は専門委員長より当該学校長に連絡し資格を取り消すことがある。

(3) この規程以外については、各大会要項及び専門部の規程により処置する。

(4) 4については、学校の事情により、日常指導している校長・教員・部活動指導員が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限るもので、安易に外部指導者の引率・監督を認めるものではない。

付則 この規程は平成8年4月26日より施行する。

平成15年2月14日一部改定

平成19年4月25日一部改正

平成22年4月27日一部改正

平成29年4月26日一部改正

平成30年4月25日一部改正

令和2年4月28日一部改正

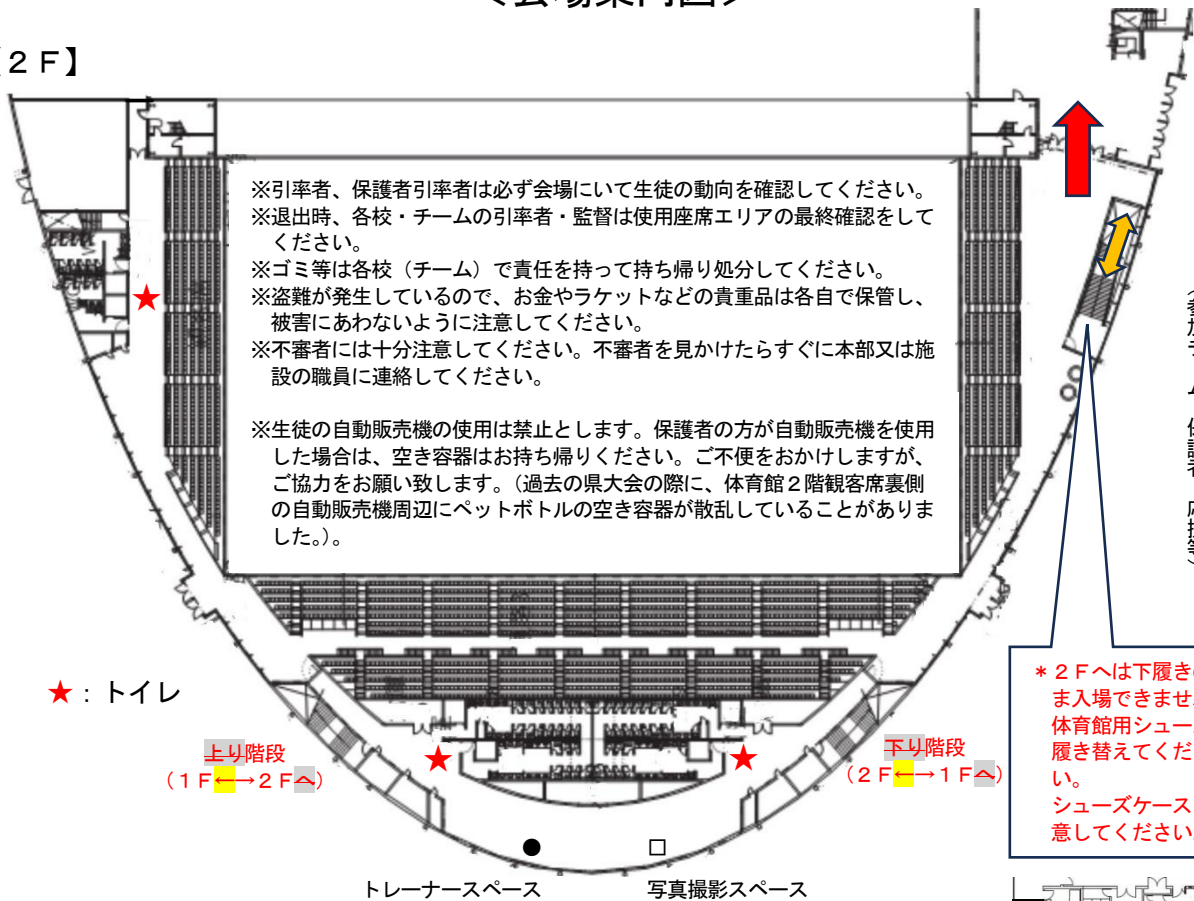
令和5年4月26日一部改正

令和6年2月16日一部改正

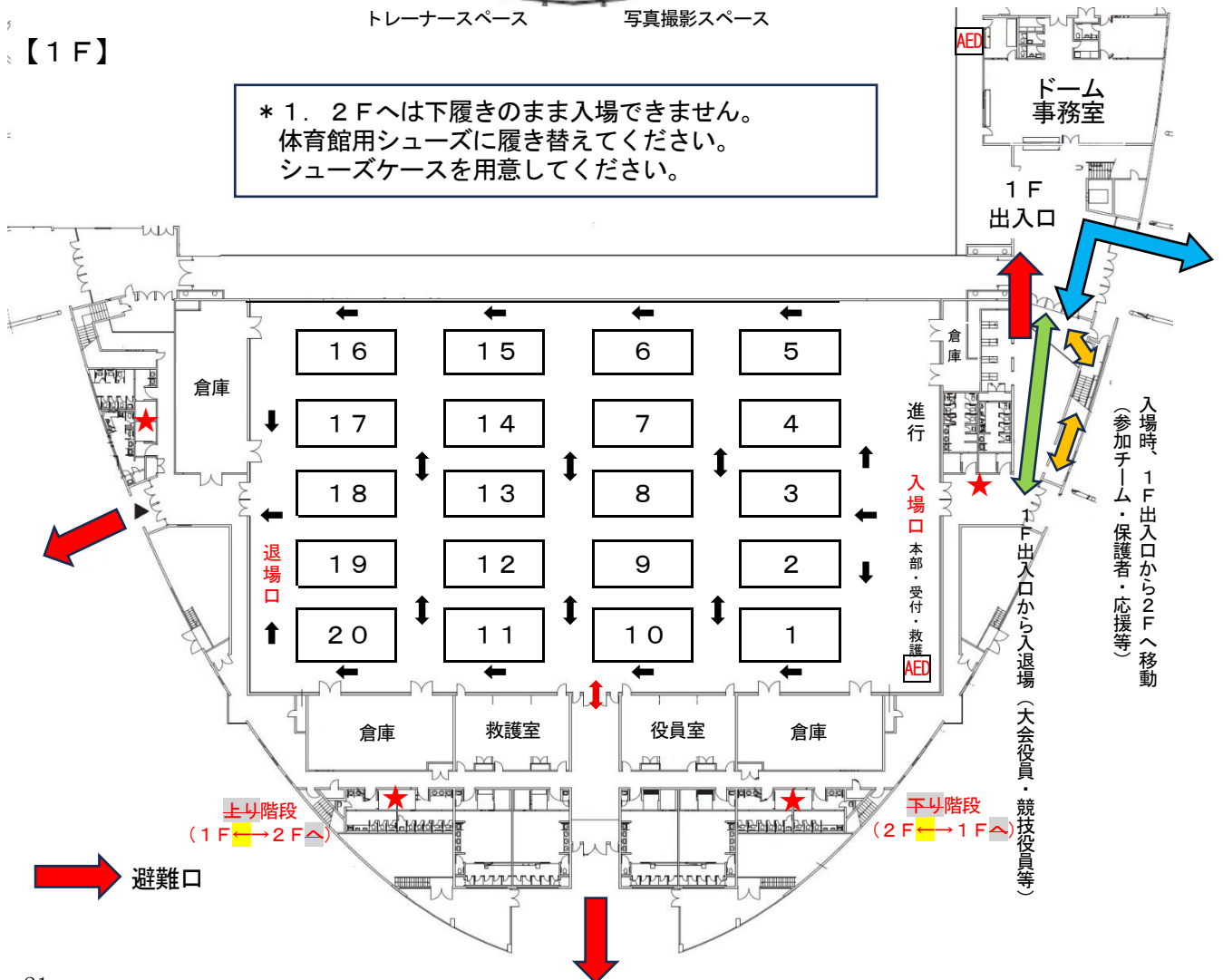
令和7年2月21日一部改正

<会場案内図>

【2 F】



【1 F】



令和7年度学校総合体育大会<中学校の部>
バドミントン競技会

【コーチの服装について】

公認審判員規程 第5条 第12項(8)

コーチは、コートサイドでマッチにふさわしい服装で臨むこと。

例えば、チームユニフォーム、シャツ、ポロシャツ、ブラウス、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチサンダル、バミューダ、ショーツ、スリッパ、サンダルは禁止とする。その適否判断は大会レフェリー(競技役員長)に委ねるものとする。

※コーチはコーチにふさわしい服装であり、プレーヤーにふさわしい服装ではありません。したがって、審査合格品ならよいということではありません。シャツは襟付きとされています(審査合格品は襟付きとみなしているので可になっています)。チームシャツ(チームTシャツ)や該当大会記念Tシャツ(今大会では関東記念Tシャツ)も認められています。また、七分丈の長ズボンは基本的には認められませんが、体育館の状況等でレフェリーが許可することもあります。七分丈のバミューダやショートパンツは認められていません。

◎ベンチ・コーチ席入りする大人については、

今大会では、検定審査合格品でも七分丈の長ズボンは不可とします。

練習及び競技中の注意点

1. 選手（審判員、監督・外部指導者等）

- ① コートへの入退場は、それぞれ指定された時間に、速やかにコートに集合する。
- ② コートサイドにはかごやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドに置き、ドリンクも各自のバッグに収容する。こぼした時は、モップ等で拭きとる。
(自分のタオルを使用して拭かない)
- ③ ラケット・タオル等の用具の貸借はしない。
- ④ 床の汗拭きは、モップもしくは所定の用具を使用する。
- ⑤ 汗をコート内やコートサイドに投げない。
- ⑥ 本部提供の使用済みシャトルは、各コート主審台下のポリ袋に入れる。

審判員の仕事

◎審判員の服装 大人：長ズボン
生徒：短パン（ハーフパンツ、七分丈パンツ）可

1 審判担当の割り振り

<団体戦>

1. 試合は、2～3コートを使用して行う。(1コート4名)

- ・コート番号の早い方から順に、第1ダブルス・シングルス、早く終了したコートで第2ダブルスを行う。

2. 審判は、各地区をA B C Dの4グループに分けて5コートを担当する。

<個人戦>

1. 審判は、各地区をA B C Dの4グループに分けて5コートを担当する。

2 主審の仕事

1. コートに行く前に以下の準備をする

- 各自、筆記用具を持参する。
- 試合のコールがされたら、本部からセットを受け取る。
⇒シャトル係に「男女の別」「試合番号」「コート番号」を伝える。
本部からの必要シャトル数を確認し受け取る。(例：女子試合番号2番、2コートです)

2. コートに行ったら以下のことを確認する

- 線審のイスの位置（ダブルス、シングルス）を確認する。
- 得点係がいるかを確認する。
- 選手の服装を確認する。
 - ・シャツは規定のものか（審査合格品または関東Tシャツ）
 - ・ゼッケンの文字の大きさが正しいか、4か所留めになっているか
 - ・あいさつ、各ゲーム開始時にシャツを入れさせる
- 監督および外部指導者の服装を確認する。
 - ・IDカード（監督証・外部指導者証）の着用
 - ・シューズの着用（スリッパ、サンダルは不可）
- 応援生徒（ベンチ入りできる人とその数を確認）を確認する。
- 選手の荷物の置き場を確認する（主審の脇・ショートサービスラインあたり）。
- 選手が集まった際に、各人の115cmの位置をポストの印で確認する。
- シャトルの確認をする。
 - ・本部提供のシャトルを使用するか、持ち寄りのシャトルを使うか。（意見が違う場合は、トスで決める）
 - ・持ち寄りのシャトルを出す順番をトスで決める。
- トスをして「エンドを選ぶか」「サーブ・レシーブを選ぶか」を決めさせる。
- ダブルスの場合はサーバーとレシーバーを確認する。
- 試打はさせない。（フットワークは可）
- 審判台に上がり、必要事項をスコアシートに記入する。
(サーバー&レシーバー、L・R、試合開始時刻)
- コールをして試合を始める。
 - ・試合中は線審および得点係とアイコンタクトを取る。

【競技・審判上の注意】資料3

- ・線審が担当ラインのジャッジをしたら、頷いて確認する。
- ・線審が担当ラインのジャッジをしなければ、線審にジャッジをさせてから主審は得点のコールをする。
- ・あきらかに線審の判定に誤りがあれば、オーバーコールをして判定を正しいものに変える。
- ・判断できないことがある場合は右手を挙げてレフェリー（または競技審判部長等）を呼ぶ。

3. 試合が終わったら以下のことを行う

- 「ゲーム」とコールし、速やかに、スコアシートに勝者サインをしてもらう。
- 「マッチワンバイ…」と試合終了のコールをし、審判台を降りる。
- 審判台を降りたら速やかに主審セットを本部に返却する。
(スコアボード、コイン、カード)
- シャトル係に本部提供の未使用シャトルを返却する。
(「男女の別」「試合番号」「コート番号」「本部提供の使用済みシャトル個数」を伝える)
- スコアシートに残りの必要事項を記入する。(審判台でやらず戻ってからやる)
①終了時刻②使用シャトル数③得点・マッチ数④主審サイン (他に漏れはないですか?)
- スコアシートをレフェリーや競技審判部長等に提出し、チェックを受ける。

※『異議の申し立て』について

日本バドミントン協会大会運営規程の第36条において、
「審判員の判定に対して疑問のある場合は当該プレーヤーが、団体戦の場合は当該プレーヤーと監督
に限り質問することが認められている。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。」とある。

○主審が生徒の場合、

「主審は団体戦や個人戦において質問があった場合や判断がつかない場合は、速やかにレフェリー
コール（右手を挙げ、線審又は得点係にレフェリーを呼びに行かせる）すること。」

3 線審の仕事

- 椅子には浅く腰掛け、背筋を伸ばして座る。
- 膝を組んだり、両足を前に投げ出したりしない。
- シングルスとダブルスでジャッジをするラインが異なるので注意する。
(必要に応じて椅子を動かす)
- シャトルが落下すると思われるラインの延長方向に体を動かしてシャトルを見る。
- ジャッジは姿勢を低くし、のぞき込むようにして見る。
- シャトルがコート面に落ちるまでジャッジはしない。
- よそ見をせず、自分のラインに責任を持つ。
- 真剣に、そして自信を持って線審を行なう。
- 試合終了後、主審が審判台を降りるまで、そのまま椅子に座っている。審判台を降りたら、席から離れてよい。

【ジャッジ】について

*主審とのアイコンタクトが重要になる

<インの時>

- 無言のまま右手でラインを指す。
(おおよそラインから1mの範囲は「イン」のシグナルを出す)

<アウトの時>

- プレーヤー、主審、観客にわかるよう、「**アウト**」をコールする。
(「ア」を大きな声で言うと聞こえやすい)
- 両腕を開き、手のひらを前に向けた合図をする。

<線審が判定できない時>

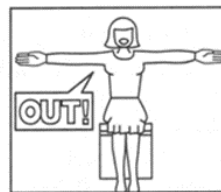
- 判定できない場合は両手で目を覆う。
- 主審が判定できる時は主審の判定が採用される。
- 主審も判定できない時は「レット」になる。

<その他>

- 主審の指示があった場合、汗拭きなどのコート整備を行なう。



シャトルがコート内に落ちたとき



シャトルがコート外に落ちたとき



シャトルの落下点が見えなくて、判定できなかったとき

4 得点係の仕事

- 主審の得点コールを聞いてから得点表示を行なう。(コール前に得点表示に手を触れない)
- 試合中はラリーに集中し、間違いのないようにする。
- ゲームカウント表示も忘れずに行なう。団体戦はマッチカウント表示も忘れずに行なう。また、団体戦の場合は、試合に勝った方の「白の数字」をめくる。3コート同時展開なので、他のコートの結果を確認しマッチカウント表示を揃える。
- ファイナルゲームのチェンジエンスの際は得点を正しく入れ替える。